

ソニー生命保険株式会社

〒100-8179 東京都千代田区大手町1-9-2
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
<https://www.sonylife.co.jp/>

2022年10月7日

ソニー生命保険株式会社

国立大学法人筑波大学が発行するサステナビリティボンド 「筑波大学 社会的価値創造債」への投資について

ソニー生命保険株式会社（社長：萩本 友男、以下「当社」）は、このたび、国立大学法人筑波大学（以下「筑波大学」という）が発行するサステナビリティボンド（第1回国立大学法人筑波大学債券、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が、①環境改善効果があること（グリーン性）及び、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

筑波大学は、我が国の高等教育政策を直接担う国立大学であり、世界最先端の学術研究の成果を社会に還元し続けています。本債券への投資資金は、筑波大学が“GLOBAL TRUST^{注1)}”の創出を目標として掲げ、この目標の実現に向けた基本的な方針である「筑波大学 Vision2030」により、社会とともに新たな社会的価値に根ざした未来社会を創造するために取り組むプロジェクト（筑波大学社会的価値創造事業）に充当され、地球規模の課題であるカーボンニュートラルや国連の持続可能な開発目標（SDGs）^{注2)}の達成に向けた新たな社会的価値に根ざした未来社会の創造に繋がります。

本債券への投資は、企業参画を前提とした実証実験フィールドを有する共同研究施設、障がい者スポーツを含むスポーツ科学等の実践的研究拠点や競技力強化等の拠点となるスポーツ複合施設、社会課題の解決に挑むマインドを醸成し、イノベーションを起こすことができる人材を育成し、学生が新たな発想を生み出し、学生文化の発信及び地域社会と交流を促進する施設等の整備に活用され、様々な社会課題の解決、健康で豊かな生活づくりや障がい者スポーツを通じたインクルーシブ教育による共生社会の実現、人材育成の推進に貢献します。

2022年8月、本債券発行のための枠組であるサステナビリティボンド・フレームワークは、ICMA (International Capital Market Association/国際資本市場協会) が定義するサステナビリティボンドガイドライン 2021 等に適合する旨、格付投資情報センター(R&I)より評価を取得しており、「ソーシャルボンド原則 (SBP) 2021」の事業区分「必要不可欠なサービス (教育)」に該当し、また、「グリーンボンド原則 (GBP) 2021」の事業区分「再生可能エネルギー」「エネルギー効率」「グリーンビルディング」に該当します。

当社は、本債券をはじめとした SDGs 債への投資を継続的に実施することによって、持続可能な社会の実現に貢献できるよう取組を推進してまいります。

<本債券の概要>

銘 柄	第1回国立大学法人筑波大学債券
年 限	40年
発行総額	200億円

注1) GLOBAL TRUST: 個人と個人、個人と社会（あるいは組織など）だけでなく、社会と社会（あるいは組織と組織、国と国など）まで含めた信頼関係

注2) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる加盟国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲット

以上